

科目名	国語	英語科目名	Japanese
開講年度・学期	平成 27 年度・通年	対象学科・専攻・学年	物質工学科 3 年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2 単位	単位種類	履修単位 30h
担当教員	柴田 美由紀	居室（もしくは所属）	専攻科棟 4 F
電話	内線 172	E-mail	Miyuki-s@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 日本語の特徴を理解し、日本語で適切に表現できること。	①		
2. 日本語で表現するために必要な知識を習得し、それらを運用できること。	⑥		
3. 伝えあう力の実践的訓練を通じて、コミュニケーション能力が向上すること。	⑥		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標 1 - 3 : 前期中間試験・前期定期試験、発表、小テスト、提出物によって評価する。			
評価方法			
前期中間試験と前期末試験の平均点を 35%程度、発表（口頭発表および発表に関連する提出物）を 35%程度、小テストと提出物（発表関連以外）を 30%程度で評価する。今年度において漢検準 2 級以上に合格した場合は、級に応じて加点する。読書体験記コンクールなど日本語表現に関するコンクールに入賞した場合も、内容に応じて加点する。			
授業内容			
[前期] 1. ガイダンス 1h 2. 日本語の特徴① (1) 日本語の音声・音韻 (音声と音声学・音素と音韻論・アクセント) 4h (2) 文字・表記 (文字の機能・漢字の借用・漢字から仮名へ) 4h 3. 伝え合う力のトレーニング① 3h 絵本の読み聞かせ（朗読【STEPⅢ】） 4. 国語常識の演習 第 1, 2 回小テスト 1h 5. 前期中間試験 1h 6. 前期中間試験の答案返却および解説 1h 小計 15h	9. 伝え合う力のトレーニング② 3h メモスピーチ（スピーチ【STEPⅢ】） 10. 前期末試験の答案返却および解説 1h 小計 15h		
7. 日本語の特徴② (3) 語彙（語彙とは何か・語彙の分類） 4h (4) 敬語（敬語の各種・敬語の使い分け） 2h (5) 共通語と方言 (方言と共通語の概念・方言の分布など) 4h 8. 国語常識の演習 第 3, 4 回小テスト 1h	[後期] 11. 文章表現① …論理的な表現 意見文の書き方 3h 12. 文章表現② …説得力のある表現 自己アピール文 3h 13. 伝え合う力のトレーニング③ 11h ディベート（ディベート【STEPⅢ】） 14. 伝え合う力のトレーニング④ 10h 個別プレゼンテーション（プレゼン【STEPⅢ】） 15. 国語常識の演習 第 5~8 回小テスト 2h 16. 提出物等の返却と評価 1h 小計 30h 合計 60h		
キーワード	日本語の特徴・伝え合う力・文章表現・国語常識		
教科書	「概説日本語」（北原保雄編著 朝倉書店） 「パスポート国語必携」（桐原書店） 「Sメソッドによる伝え合う力のトレーニング」（オリジナル教材）		
参考書	「理系のための口頭発表術－聴衆を魅了する 20 の原則」（ロバート・R・H・アンホルト著 鈴木炎他訳 講談社ブルーバックス B1584）		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	国語		
現学年の関連科目	なし		
次年度以降の関連科目	文学		
連絡事項			
授業内容は日本語学（日本語の特徴）、伝え合う力、文章表現、国語常識の 4 本立てで行います。盛り沢山の内容ですが、バランスよく鍛えることで日本語力に磨きをかけましょう。			
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 25 日		